

本校教育目標及び努力点

1【教育目標】

ともに学び、よりよく生きる
— 「自立と共生」の力を育む —

2【校訓】

やさしく かしこく たくましく

3【めざす下小っ子】

- (1) 自ら課題を見つけ主体的に学べる子
- (2) 仲間と関わり、学びを深める子
- (3) 自他の良さを認め合える子
- (4) 思いやりのある言動ができる子
- (5) 心も体も健康でたくましい子
- (6) 明るい挨拶のできる子
- (7) みんなのために働く子

4【めざす教師像】

- (1) 授業研究に主体的に取り組む教師
- (2) 仲間と関わり、学びを深める教師
- (3) 自他の良さを認め合える教師
- (4) 思いやりのある言動ができる教師
- (5) 心も体も健康でたくましい教師
- (6) 明るく笑顔で対応できる教師
- (7) 同僚と協働できる教師

5【開かれた学校運営】

- (1) ホームページや学校便りなどを通じて、学校からの積極的な情報発信を行う。
- (2) 授業や学校行事を積極的に公開していく。
- (3) 教育活動状況について、常に自己点検及び評価を行うとともに、外部評価を取り入れ、教育実践のより一層の改善を図る。

6【家庭・地域との連携】

- (1) 育友会や美里中学校区学校運営協議会を通して地域の人々との交流をはかる。
- (2) 美里中学校やこのこのども園、その他関係機関との連携を図っていく。
- (3) 運動会・学習発表会等で積極的に地域の方の参加を募る。

7【重点目標】

やさしく【人間力の向上】

(1) 特別支援教育の充実

- 特別支援教育に関する一定の知識・技能及び合理的配慮の提供に関する正しい理解のための専門性を向上させる。(校内授業研究・優れた講師先生から学ぶ)
- 関係機関と連携を密にする。

(2) 児童の自己肯定感・自己有効感を高揚させる

- 児童の長所や進歩、頑張りなどを積極的に認め、自分への肯定的な気付きを促す。
- 集団活動の中で個に応じた役割を設定することにより、所属意識を高める。

(3) 人権教育・道徳教育の充実

- 地域の「ひと・もの・こと」とふれあう活動を通して地域を愛する心を育てる。
- 児童が互いのよさを認識し、安心して学校生活を送れる集団づくりに取り組む
- 話し合い活動を通して自分の考えを正確に伝えるコミュニケーションの技能・態度の育成を図る。

(4) いじめ防止対策の徹底

- いじめアンケートを定期的にとり、いじめの早期発見につとめると共に、きめ細やかな指導を行う
- 伝え合う力をつけることを通して、相手の心情を想像・理解できるようにする。

かしこく【学力の向上】

(5) 伝え合う力を高める授業の工夫・改善

- 授業力向上のための現職教育を充実させる。
- 「学習のスタンダード」を定着させ、学習の基礎基本を身につけさせる。
- 研修会に積極的に参加する。

(6) 読書活動の推進

- 読み聞かせ等の読書活動を通して本好きな子どもを育てる。
- 町立図書館との連携を図る。
- 保護者会等を利用して家庭での読書を推進する。

(7) 基礎学力と家庭学習の定着

- 補充学習や家庭学習を組織的・計画的に実施する。
- 朝の学習タイムで作文学習に取り組み書く力の充実を図る。

たくましく【体力・健康の向上】

(8) 体育的行事と体育授業の充実

- 「きのくにチャレンジランキング」の積極的な活用を図る。
- 体育的行事の内容を精選し、体育授業との連携を図っていく。

(9) 健康指導・食育指導の充実

- 児童の委員会活動を活用し、児童の主体的な取り組みを進める。
- 系統的な食育を計画的に推進する。
- 町行政機関と連携を図り、健康指導を充実させる。

(10) 体力向上活動の推進

- 家庭と連携して体力向上や生活習慣の改善を図る。
- 新体力テストの結果を活用し、体力向上の取り組みにつなげる。